

ご挨拶

私と国際交流のかかわりは、昭和 63 年 3 月、アメリカミズーリ州コロンビア市への姉妹都市提携のための訪問団の一員として参加した 30 年以上前に遡ります。その時の直接体験が、私の国際交流活動の原点になっているように思います。



その後、平成 23 年に当協会の会長に就任して以降、静岡県藤枝市をはじめ、再度コロンビア市、さらに、中国瀋陽市、オーストラリアペンリス市、イギリスボストン町、ドイツラウンハイム市と、白山市の親善友好都市 6 都市すべてを訪問する機会に恵まれ、民間の立場から両市の親善友好を推進してまいりました。中でも、米国コロンビア市と英国ボストン町へは、協会独自の企画で市民の参加者を募り、現地の皆さんと友好を深めたことが忘れられない思い出として残っています。

このように相互訪問交流を長年にわたり実施して参りましたが、2020 年、瞬く間に全世界に拡散したコロナ禍を受けて、海外への派遣・受入交流は、すべて中止に追い込まれてしまいました。

しかしながら、当協会が運営する「国際交流サロン」では、インターネットを駆使しながら、海外の人々との切れ目のない交流を続けているほか、学習者の人数制限を行いながら日本語教室もコロナ禍前同様に開催されています。また、2020 年からは、当協会の日本語サポーターが外国籍児童生徒の日本語支援者として、市内小中学校で活動していただいております。外国人住民が増加する中、当協会の役割は一層重要性を増していくものと思われまます。

コロナ禍が大きく収束してゆく気配が見通せず、前途への不安は残りますが、一日も早いコロナウイルスの終息と通常の活動が取り戻せる日が来ることに希望を託し、協会サポーターの皆様、会員、市民の皆様のご協力のもとに、国際交流の発展及び多文化共生の推進に努めてまいりたいと思っております。引き続き、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

2021 年 4 月

白山市国際交流協会
会長 福田 裕 (ふくだ ひろし)